

独立行政法人産業技術総合研究所
第1回契約監視委員会 議事概要

1. 日時：平成24年6月13日（水）13：30～16：00
2. 場所：産総研東京本部会議室 経産省別館10階
3. 出席者：加々美委員長、手柴委員、青山委員、大谷委員、内田委員

4. 議題
 - (1) 委員会の開催予定
 - (2) 平成23年度契約実績の概況について
 - (3) 点検案件の選定について
 - (4) 平成23年度契約個別点検
 - (5) その他

5. 議事概要
 - 議題(1) 委員会の開催予定
事務局から資料3のとおり、今後の委員会開催予定について説明し、了承された。

 - 議題(2) 平成23年度契約実績の状況について
事務局から資料4に基づき、「平成23年度契約実績の状況」について説明。委員より、入札辞退者からのアンケート結果の分析を何れかの機会に示してほしい旨要請があった。

 - 議題(3) 点検案件の選定について
平成23年度契約の個別点検を行うに当たって、「点検案件の抽出について(案)」について資料5-1、資料5-2により説明し、了承された。

 - 議題(4) 平成23年度契約個別点検
 - ① 本日の点検は随意契約27件を行い、時間が許せば企画競争6件[※]と公募隋契19件を実施していくこととなった。
※ 当初配布資料では8件であったが、内2件は複数応札であったことが委員会中に判明した。
 - ② 随意契約については、資料6に基づき「個別判断によるもの」27件について説明し、それぞれの点検を行った結果、了承された。なお、No.29とNo.113については今後コスト削減に向けた検討をしていくこととされた。

なお、委員からの主な意見は次のとおり。

○No.29 のシステム使用及び保守契約の固定費については、初期投資は減価償却で回収できてしまうので、期間が長くなったら減額交渉の余地が出てくるのではないか。

→システム構成の見直しと併せ減額の交渉も検討したい。

○No.113 はインターネットが普及している現在、本当に安いのか疑問。

→本件については当所においても問題意識を持っているところ。

来年の委員会に何らかの報告ができるよう検討する。

③ 企画競争契約 8 件について各担当部署から内容を説明し、点検を行った。委員からの主な質問は次のとおり。

○企画競争の合格ラインはあるか。一者では比較できないので、不十分な項目があれば契約のときに指示するなどが必要ではないか。

→最低基準をどうするかという明確な基準は無い。請求部署の審査において要求を満たさないと判断した場合は落とすこととなる。

○No.1362 は、結果的に意図したイベントが開催されたのか。実際にイベントを拝見し素晴らしいと思ったが、結果はデータとしてでてくるのか。

→経産省に実績報告書として報告している。アンケートでは概ね満足との結果を得ている。

○No.1686 は契約から納入期限まで 2 ヶ月とされているが、作業期間として妥当なのか。

→納入期限については契約審査委員会の審査項目としている。落札事業者に作業期間が妥当だったか確認してみる。

④ 公募隋契 19 件のうち、10 件について各担当部署から内容を説明し、点検を行った。公募隋契のうち「ホ：役務」9 件は次回で点検することとなった。

委員からの主な意見は次のとおり。

○公募随意契約の一者応札が 100%とあるが、改善策はあるか。

→公募は応札事業者が一者しかないだろうという案件についての手続きであり、一般競争に付しても一者にしかならない。むしろ競争相手が手を挙げてきたら公募と判断したこと自体が誤っていたことになる。

○No.1986、No.2473(電子錠)を公募にする理由は、メーカーが一社しかないとする、他社の応札の可能性はゼロではないのか。

→一つの工事と考えれば施工は複数数でやれないという事ではない。

以上